

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)浜北区新原 株式会社小松工	階数	地上2F
建設地	静岡県浜松市	構造	S造
用途地域	地域指定なし	平均居住人員	40 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年12月 予定	評価の実施日	2021年4月2日
敷地面積	6,650 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社飯田組一級建築士事
建築面積	2,988 m <sup>2</sup>	確認日	2021年4月1日
延床面積	3,229 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社飯田組一級建築士事務所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.5**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.5

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.4

**LR のスコア = 3.5**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
・これはCASBEE静岡(2016年版)による評価結果です。	特になし	
<b>Q1 室内環境</b>	<b>Q2 サービス性能</b>	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>
・仕上材等の建材は、F☆☆☆☆を使用している。 ・喫煙室を設置している。	・事務室の天井高は2.7mである。 ・食堂兼休憩室は、工場と事務室等の2.89%である。 ・各仕上材は防汚性の高い材料を採用している。	・景観条例に準じている。
<b>LR1 エネルギー</b>	<b>LR2 資源・マテリアル</b>	<b>LR3 敷地外環境</b>
・省エネ適合判定BEImは0.54である。 ・二重葺断熱折板を採用している。	・節水泡沫型水栓、節水型便器を採用している。 ・断熱材は、グラスウール、スタイロフォームを採用している。	・駐輪場、駐車場、トラック待機所を適正に計画している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



欄に数値またはコメントを記入

<b>1. 建物概要</b>						
建物名称	(仮称)浜北区新原 株式会社小松工業様 工場 新築工事	BEE	1	BEEランク	B-	★★

2. 重点項目への取組み度						
重点項目	得点*/満点		取組み度		評価	
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.8	/5			ふつつ	
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.6	/5			がんばろう	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	1.7	/5			がんばろう	
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.8	/5			がんばろう	
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)			評価 凡例	よい 4 点以上	ふつつ 3 点以上	がんばろう 3 点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目	
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。			
<b>"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)</b>		得点	<b>3.8</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>①二重葺断熱折板を採用している。</li> </ul> </li> <li>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑥緑被率は26%である。</li> </ul> </li> <li>■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑦二重葺断熱折板を採用している。</li> <li>⑨LED照明を採用している。</li> </ul> </li> <li>■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑪節水泡沫型水栓、節水型便器を採用している。</li> <li>⑬断熱材は、グラスウール、スタイロフォームを採用している。</li> </ul> </li> </ul>	Q-1 2 2.1 2.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ④ 主要設備機器の更新必要間隔	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑤ 生物環境の保全と創出</li> <li>⑥ 敷地内温熱環境の向上</li> </ul>	Q-3 1 3 3.2	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑦ 建物外皮の熱負荷抑制</li> <li>⑧ 自然エネルギー利用</li> <li>⑨ 設備システムの高効率化</li> <li>⑩ モニタリング</li> <li>⑩ 運用管理体制</li> </ul>	LR-1 1 2 3 4 4.1 4.2	⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑩
	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑪ 節水</li> <li>⑪ 雨水利用システム導入の有無</li> <li>⑪ 雑排水等利用システム導入の有無</li> <li>⑫ 材料使用量の削減</li> <li>⑫ 既存建築躯体等の継続使用</li> <li>⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用</li> <li>⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</li> <li>⑫ 持続可能な森林から産出された木材</li> <li>⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み</li> <li>⑬ 有害物質を含まない材料の使用</li> <li>⑬ 消火剤</li> <li>⑬ 断熱材</li> <li>⑬ 冷媒</li> </ul>	LR-2 1 1.1 1.2 1.2.1 1.2.2 2 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 3 3.1 3.2 3.2.1 3.2.2 3.2.3	⑪ ⑪ ⑪ ⑫ ⑫ ⑫ ⑫ ⑫ ⑬ ⑬ ⑬ ⑬
<ul style="list-style-type: none"> <li>⑭ 地球温暖化への配慮</li> <li>⑮ 温熱環境悪化の改善</li> </ul>	LR-3 1 2 2.2	⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善	
<b>"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)</b>		得点	<b>2.6</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑯地域係数Z=1.2にて構造計算している。</li> </ul> </li> </ul>	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰	⑯ 耐震性 ⑯ 免震・制振性能 ⑰ 空調・換気設備 ⑰ 給排水・衛生設備 ⑰ 電気設備 ⑰ 機械・配管支持方法 ⑰ 通信・情報設備	
	<b>"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)</b>		得点
<ul style="list-style-type: none"> <li>■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑲階高は3.98mである。ラーメン構造を採用し、壁長さ比率=0.093である。</li> </ul> </li> <li>■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>㉑高木を境界沿いに配置し、緑被率は26%である。</li> </ul> </li> </ul>	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲ 3 3.1 3.1.1 ⑲ 3.1.2 ⑲ Q-3 3 3.1 ⑳	⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ ⑳ 地域性への配慮、快適性の向上	
	<b>"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)</b>		得点
<ul style="list-style-type: none"> <li>■室外環境(敷地内)対策 (⑳生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/㉓敷地内温熱環境の向上)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>㉒景観条例に準じている。</li> </ul> </li> <li>■敷地外環境対策 (㉔持続可能な森林から産出された木材/㉕温熱環境悪化の改善)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>特になし</li> </ul> </li> </ul>	Q-3 1 2 3 3.2 LR-2 2 2.5 LR-3 2 2.2	㉓ 生物環境の保全と創出 ㉒ まちなみ景観への配慮 ㉓ 敷地内温熱環境の向上 ㉔ 持続可能な森林から産出された木材 ㉕ 温熱環境悪化の改善	